落蕾の少ないスイートピー新系統「GF11①」の育成

【研究のポイント】

本県のスイートピーは全国第2位の栽培面積を誇る主要品目です。しかし近年は、日照不足や高温などの気象条件の変化により落蕾（※）の発生が増え、安定生産が課題となっています。

そこで、生産現場の要望を受け、落蕾が発生しにくい性質を持つ新系統「GF11①」を育成しました。

※落蕾：日照不足等により花芽が発達せずに蕾のまま落下する現象。

【研究の成果】

1　有望系統「GF11①」の選抜

花きグループ選抜の有望系統の中から、落蕾率が低く、代表的な市販品種「ステラ」と同等の切り花形質を有し、さらに切り花本数に優れる「GF11①」を選抜しました。

表１　花きグループ場内での切り花特性（調査期間：2023. 12. 7～2024. 2. 28）

系統名	花色	落蕾率（%）				上位等級発生率（%）			
		12月	1月	2月	平均	12月	1月	2月	平均
GF11①	濃いピンク	6.7	5.3	6.4	6.1	79.3	88.7	84.0	84.0
ステラ（対照区）	クリーム	10.0	21.8	16.7	16.2	80.8	56.7	71.7	69.7

系統名	花色	切り花長(cm)				切り花本数（本/株）			
		12月	1月	2月	平均	12月	1月	2月	平均
GF11①	濃いピンク	54.4	58.6	59.0	57.3	5.1	5.4	5.5	5.3
ステラ（対照区）	クリーム	56.3	60.3	59.5	58.7	3.9	3.9	4.5	4.1

2　現地栽培試験による特性確認

現地栽培試験でも「GF11①」は落蕾が少なく、「ステラ」と同等の切り花品質を示しました。

表２　佐伯市現地生産圃場での切り花特性
（調査期間2024. 12. 11～2025. 3. 26）

系統名	切り花長(cm)	開花数(輪)	落蕾率(%)	上位等級発生率(%)
GF11①	48. 4	4. 4	2. 1	41. 4
ステラ（対照区）	49. 6	4. 2	3. 6	46. 4

写真１　難落蕾性有望系統「GF11①」

【生産者の声】

近年の極端な気象条件によりスイートピーの栽培は難しくなってきています。そんな中、品質の良い系統が出たことはとてもありがたい。今後も新系統の育成に期待しています。（佐伯市　宮田　氏）

【連絡先】

担当：　農林水産研究指導センター　農業研究部花きグループ　花きチーム
TEL　：　0977-66-4706
住所：　大分県別府市大字鶴見710-1